

令和7年（2025年）9月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（2日目）

令和7年9月16日（火）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	奥間綾乃 (無所属) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 物価高騰対策について 2 中心市街地に関する課題について 3 観光経済活性化について 4 子育て出産育児支援について	長引く物価高騰に対し、本市として新たな支援策の検討状況及び市民の生活を守る施策として公共交通の無償化を提案するが見解を伺う (1) 観光客や市民が安心して利用できる環境整備の観点から、繁華街や市場周辺におけるトイレ不足について、本市独自の対応を検討すべきではないか見解を伺う (2) 飲食店が集積する地域で頻発する害虫被害について、一斉駆除など効果的な取組を実施できないか見解を伺う (3) 公設市場は観光の拠点であるが、グリストラップ清掃により関係のない店舗まで休館を余儀なくされている。営業への影響を軽減する改善策は講じられないか見解を伺う 例年2月に行われるプロ野球春季キャンプであるが、那覇市には読売ジャイアンツが訪れにぎわいを創出していることを把握している。そのキャンプに関わる全ての事業及び予算額と成果(費用対効果)を伺う 子ども子育てについて以下伺う (1) 本市では産後ケア事業が行われているが、妊娠期(産前)や出産期(産中)に対する支援事業はあるか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 教育行政について	(2) 近年、国は父親の育児を推進しているが父親を対象とした育児講座や安全管理に関する勉強会などの実施はあるか 児童生徒の放課後のまなびの格差解消として導入された「まなびクーポン」について、文化・芸術・スポーツなど幅広い習い事への活用も視野に入れ支援対象の拡充を求めたいが見解を伺う
		6 公園行政・防犯対策について	(1) 市民から要望の強いドッグラン設置について、以前提案した新都心公園を含め、その後の検討状況を伺う (2) 波の上ビーチや公園において観光客等を狙った窃盗被害が報告されているが市は把握しているか、また防犯カメラの設置など、安全・安心を確保するための抑止策が必要ではないか見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 令和７年９月１６日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	宇 根 良 也 (無所属クラブ)	1 教育行政について	(1) 本市における市立小中学校の学校区について 市立小中学校の学校区は、児童生徒の学習環境や地域コミュニティに大きな影響を与える重要な要素と考える。本市でも人口減少や児童生徒数の偏在が進む中で、通学区域の在り方をどう見直すかが課題となっている。本市の学校区設定の基本的な考え方と、直近での見直し事例について伺う (2) 市立小中学校の長寿命化改良工事について これまで市立小中学校の施設整備は主に建て替えを基本として進められてきたが、今回初めて「長寿命化改良工事」という形で取り組まれることとなった。児童生徒の安全・安心を守りつつ、費用や工期を抑える新しい選択肢として注目している。その効果や課題について、これまで建て替えを基本としてきた市立小中学校施設整備において、今回初めて長寿命化改良工事を行う経緯について伺う
		2 文化芸能と観光の連携について	那覇市は「旗頭のまち宣言」を掲げるとともに、国際通りやまちぐわーといった独自の文化的空間を有している。観光都市として発展を図るうえで、文化芸能と観光をいかに連携させ、市民の誇りと観光振興を両立させていくかが大きな課題であるとする。本市における、観光と文化芸能の連携は現在どのようなものがあるか伺う
		3 那覇市議会議員選挙について	去る市議会議員選挙について、本市としてどのように総括しているのか、本市の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、選挙管理委員長、関係部長

一般質問（２日目） 令和７年９月１６日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	山 田 マドカ (立憲民主・社民・ニライ)	1 高齢者の住居 支援について	台風により住居を失った80代の女性が、市営住宅に一時的に入居中。しかし、その入居期間が終了する直前に今後の住まいが単身高齢であることを理由に、民間賃貸住宅への入居は断られることが多く、新たな住まいの確保が極めて困難な状況である。本市の対応について以下伺う (1) 災害により住居を失った市民に対し、市営住宅を一時的に提供する制度があると聞いているが、その内容と状況について伺う (2) 高齢者、特に単身高齢者が民間賃貸住宅に入居しようとする際に、年齢を理由として入居を断られる事例が多くある。市はその実態をどの程度把握しているのか。また、住宅確保要配慮者への支援策として、保証制度や家賃補助、高齢者向け住宅の整備などを検討する考えはあるのか伺う
		2 空家対策について	埼玉県川島町では「0円物件マッチング」を民間と連携して開始しマッチング手数料の一部を公費で後押ししている。那覇市も無償譲渡カテゴリーを設け、放置されがちな物件の流通を行ってはいかがか伺う
		3 犯罪被害者 への支援について	名護市議会で犯罪被害者等支援条例が可決され、4月1日に施行された。那覇市においても条例制定が必要と考えるが見解を伺う
		4 修学旅行、 派遣等の旅費 の取り扱いについて	修学旅行費等の遠征費用を教員が一時立て替えしている現状があると聞くが多額の立て替えてを教員に求める仕組みは不適切と考えるが見解を伺う

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 てんぶす館の設備について	てんぶすホールの開業年数及び、舞台設備の大型修繕の実績について伺う
		6 アウトオブキッザニア in なはについて	アウトオブキッザニア in なは2024の実施状況と振り返りについて伺う
		7 防災行政について	9月13日土曜日開催の、なは一とお笑い避難訓練の内容について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和７年９月１６日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	上 原 仙 子 (みんなの協働！) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 第６次那覇市総合計画について 2 少子化対策について 3 伝統文化である旗頭の継承と発展について	2018 年度に策定された第５次那覇市総合計画は 2027（令和 9）年度までの 10 年を計画期間としている。残すところ約 2 年半となり、次の第 6 次総合計画の策定を進めていく時期かと考えるが、策定に向けた検討状況等を伺う (1) 第 5 次那覇市総合計画の検証を含め、第 6 次那覇市総合計画の策定スケジュールを問う (2) 第 6 次那覇市総合計画では、市民の参画方法についてどのように考えているのか伺う 前回 6 月定例会では、出生数減少の要因の一つである婚姻率の低下について、本市の結婚支援策を求めたところであるが、先月、沖縄県が結婚支援センターを設置し、マッチングシステムの運用を開始するとの報道がなされた。そこで改めて、本市の結婚支援に対する見解と具体的な取組を伺う 那覇三大祭りの一つである「那覇大綱挽」を大いに盛り上げる旗頭は、地域の誇りであり、沖縄を代表する伝統文化として、これまで大切に守り継がれてきた 本市においても、2023（令和 5）年に「旗頭のまち宣言」を行い、その意義と重要性を改めて明らかにしたものと認識しているが、旗頭の継承と発展にあたっては、担い手不足や活動の場の確保、資金の確保、さらには次世代への魅力発信など、様々な課題が指摘されている 本市として、旗頭の継承・発展に向けて、これらの課題をどのように捉え、また、どのような取組を進めているのか、見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 小禄地域の文化財整備と観光まちづくりについて 5 道路行政について	小禄地域は、長い歴史の中で育まれた文化と、今もその面影を残すまちなみが存在している。これらは地域の誇りであるとともに、市内外から多くの観光客を惹きつける潜在的な魅力を秘めていると確信している しかし、現状ではその知名度は十分とは言えず、適切な整備と情報発信が今後の大きな課題だと考える。そこで、小禄地域の文化財を観光まちづくりへと結びつけるため、以下伺う (1) 市指定史跡「アモールシガー」と「シマダガー」は、かつてのムラガー（集落の井戸）であり、地域の生活と信仰を支えてきた歴史的にも価値の高い場所であるが、現状では整備が十分な状況ではない。今後、一括交付金などの活用も視野に入れた、積極的な整備を検討すべきと考えるが見解を伺う (2) 沖縄県のグスク分布調査報告書において、その存在が示されている「小禄グスク」は、小禄地域の歴史を語る上で極めて重要な遺跡である。しかし、その存在は広く知られてはいない。市として、この小禄グスクの存在を正式に認め、広く公表すべきではないか。見解を伺う 狭い歩道に設置された電柱が歩行者の安全を妨げることがある。特にスクールゾーンや福祉施設周辺では、登下校の子どもや高齢者、車椅子利用者が通行に支障をきたし、車道に出ざるを得ないなどの危険があるとの市民の声が寄せられている。電柱の移設や埋設などの要望があった場合、本市ではどのように対応しているのか、また今後どのような対応が可能なのか、見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 公園行政について	先月、漫湖公園P a r k-P F I事業が竣工し、9月1日にはスターバックスコーヒーがオープンした。自然との共存や、近隣の漫湖水鳥湿地センターとの連携、さらには地域コミュニティづくりへの取組など、新たな賑わいの創出に地域住民からも大きな期待が寄せられている 一方で、駐車場が市民庭球場との共用であるため大会開催時の混雑が懸念されるほか、出入りが不便であることから、無理な右折やUターン、逆走といった危険な行為も見受けられる。これらの課題については以前から指摘してきたところである。そこで以下伺う (1) 駐車場の安全性・利便性向上に向けた現状と対応 (2) 今回のP a r k-P F I事業の成果と課題をどのように評価しているか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和７年９月１６日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	喜屋武 幸 容 (立憲民主・社民・ニライ)	1 軍事訓練による被害について	市民生活への安心安全を守る上で、どのように対処していくか以下伺う (1) 市街地上空を飛来する軍用機による騒音等苦情件数を伺う (2) 陸上自衛隊第15旅団の訓練についてどの程度情報共有されているか伺う (3) 激化する軍事訓練から市民生活の安心安全を守るうえで、専門の部署を設ける必要があると考えるが見解を伺う
		2 教育行政について	学校の先生方の業務負担軽減や、学校環境整備について以下伺う (1) 教職員の残業時間の実態把握と、その解消に向けた業務の削減について、具体的にはどのような対応をしているのか伺う (2) 空調の故障について現状と対策を伺う
		3 なは一とについて	今回のトラブルを受け、市が主催する新規性の高い演目を公演する際の改善策を伺う
		4 下水道行政について	首里石嶺町雨水調整池の市民利用状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

質問方式

一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（２日目） 令和７年９月１６日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	幸 地 わかえ (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 本市就学前教育保育施設の安全対策について 2 本市中学校の部活動における規則について 3 若年シングルマザー自立支援事業について 4 認知症高齢者支援について 5 生活保護受給者への支援について 6 観光行政について	本市就学前教育保育施設における安全対策について、特に、子どもたちの安全確保の観点から、見守りカメラの設置は重要な取組と考えるが、現時点で本市の就学前教育保育施設における見守りカメラの設置状況を問う 中学生の部活動における「大会出場の条件」について、中学生が大会に出場できない条件にはどのようなものがあるのか、また、その条件は全国一律で定められているのか、それとも各学校や教育委員会の裁量に委ねられているのか、問う 本市における「若年シングルマザー」の把握状況を問う 「那覇市みまもりシール」について、市民から「安心につながった」など喜びの声が届いている。認知症高齢者を地域全体で支えるという観点から、今後さらに支援拡充の予定があるのか、問う 生活保護受給者への支援について、本市として物価高騰や住まいの不安定化の影響をどのように把握しているのか。また、生活保護受給者が安心して生活できるよう、どのような支援策を講じているのか、問う (1) 令和５年６月定例会の一般質問において、メタバースを活用した観光振興について提案したところ、市長からは「メタバースについては将来性がある、行政的にもしっかり取り組んでまいりたい」との答弁があった。その後の具体的な取組状況や進捗について、問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 建設産業における女性活躍、定着促進に向けた本市の支援について	(2) 第二クルーズバースから市内中心地などへのアクセス方法について、現在の交通手段の状況と、それに伴う課題について問う 令和7年3月、国交省及び民間団体において、建設産業における女性活躍・定着促進に向けた実行計画が策定された 建設産業における女性活躍、定着促進に向け、環境整備が急務であるが、以下、問う (1) 女性専用トイレや快適トイレの設置における本市発注工事の助成について (2) 事業者が抱えている課題を本市はどのように認識しているか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和７年９月１６日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	吉 里 明 (公 明 党)	1 GW2050 P R O J E C T Sについて	6月定例会にて、これからの「ひとづくり」を着実に進めるために、「教育」と「人材育成」を本市の成長戦略の柱に据えることを訴えてきた。次は、理念段階から実行段階へと移すことが重要である そのために、教育委員会や経済観光部、企画財務部などの部局横断的な推進体制を構築するとともに、産官学連携による具体的な取組を本市がリードすべきと考える。見解を伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 教育行政について	(1) グローバル社会の本格的到来を見据え、那覇市の成長戦略の一つとして英語教育の強化に取り組むべきと訴えてきた。まずは、政府が掲げる「2027 年までに英検 3 級相当以上の英語力を持つ生徒割合 60%」という目標を達成するために、本市の子どもたちの学習意欲を引き出す具体的な施策と、その取組状況について伺う (2) 子どもたちが主体的に学びを深め、将来に夢や希望を持てるようにするためには、自己肯定感などを高め、その根本となる「豊かな心」を育む教育体制の拡充が重要であると考える。本市としての方針と課題などについて伺う (3) 子どもの居場所づくりに関する方針を伺うとともに、放課後こども教室の現状と今後の方向性について伺う。併せて、支援員への謝礼金増額の検討状況についても伺う (4) 本市の児童館や公民館などの配置現状と課題、地域ごとの不均衡についての認識とその対応について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 医療的ケア 児支援について	修学旅行などの校外学習において、医療的ケア児が安心して参加できるようにするためには、看護師や介助手などの派遣体制を整えていく必要がある 本市における支援体制の検討状況と、今後の方針について伺う
		4 農業支援について	(1) 子どもたちが農業体験を通じて、食の大切さや地域農業への理解を深める機会を創出することは、農業支援の一つとして大変重要であると考えます。本市の見解を伺う (2) 市民農家が生産した農作物を市民に広く活用してもらうため、農作物シェアリング事業などを検討すべきと考えます。本市の見解を伺う
		5 住宅支援について	2030 年には、本市において約 3.5 人に 1 人が 65 歳以上になると見込まれている こうした中で、地域包括ケアシステムの深化や居住支援協議会の設置を見据え、老朽化した共同住宅について建築年数などの実態調査を行い、将来の住居問題について行政対応の方針を示していく必要があると考えます。本市の見解を伺う
		6 慢性疾患患者への経済的負担軽減策について	I 型糖尿病は、体の中で血糖値を下げる役割を持つ“インスリン”が出なくなる病気であり、発症すると一生にわたり毎日の注射やポンプでインスリンを補う治療が必要となってくる 特に小児期に発症した患者は、20 歳を超えると小児慢性特定疾病医療費助成の対象から外れ、実際に血糖測定機器やインスリン送達装置などにより毎月 2～5 万円程度の自己負担が重くのしかかっている こうした負担は治療継続や通院抑制のリスクとなり、健康悪化を招く恐れがあるほか、自治体によって支援内容に大きな差が生じている現状も課題であると考えます 20 歳以降の I 型糖尿病患者の経済的負担軽減

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			について、本市として県や国とどのように連携していくのか。また独自に取り得る支援や実態調査などをどう進めていくのかを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和７年９月１６日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	糸 数 たかこ (うない・にぬふあ)	1 子どもへの性暴力防止について 2 教育行政について 3 ひとり親支援について	(1) 米兵が６歳の少女を暴行殺害した由美子ちゃん事件から 70 年、95 年の少女暴行事件から 30 年、米軍基地から派生する性暴力事件は戦後ずっと起こり続け、今も後を絶たない。沖縄市での合同パトロールのような対策は抑止とはならず、パフォーマンスにしか見えない。市長は定例記者会見で本市での日米合同パトロールを協議していると明らかにしているようだが、内容及び経緯について伺う (2) 学校での性暴力について、県内で発生し 8 月に報道された教員の業務補助をしていた男性職員の逮捕事例を受け、本市の見解を伺う (1) 子ども自身が「安心して意見を言える」「自分の人権が尊重されている」と実感できる学校づくりが必要だ。そのためには、子どもの声を代弁するアドボケイトの仕組みを導入することが効果的だと思うが、市としてどのように考えているか (2) 家庭の事情や経済状況に左右されることがなく、全ての子どもに公平に居場所を確保するために、学校を開放する取り組みが必要ではないか。放課後の教室や校庭で児童生徒が自由に過ごせるようになっているのか、現状を伺う (1) 養育費履行確保等支援事業について成果と課題を伺う (2) 本市のエンゲル係数が全国 4 位という結果が報道されたが、ひとり親についての状況を把握しているか伺う

質問方式

一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 支援の場が懲罰的な構造になっていないか。例えば児童扶養手当の現況届について市民からの苦情を聞くが、オンライン申請など改善する必要性はないか見解を伺う
		4 なはねこサポーター制度について	なはねこサポーター制度について、現状と課題を伺う
		5 なは市民協働プラザについて	老朽化対策について伺う
		6 HPVワクチンについて	HPVワクチンの集団接種実施について、経緯を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長